

はじめに



我が国では、少子高齢化が進行する中、2025年に団塊の世代が75歳以上の高齢者となり、医療や介護を必要とする人の増加も予測されております。

本市は、2016（平成28）年度に地域包括ケア推進室を設置し、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるため、医療・介護・予防・住まい・生活支援などの多様なサービスが提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを進めてきました。

こうした中、これからも地域包括ケアシステムをさらに深化・推進し、必要とする人に必要なサービスが提供されるように、持続可能な介護・高齢者福祉サービスを確保していくとともに、すべての高齢者が生きがいを持ち、安心して生活ができる地域社会の構築をめざして、第7次春日井市高齢者総合福祉計画を策定しました。

今後は、本計画に基づき、高齢者が身近な地域の中で、健康でいきいきと暮らすことのできる環境を整備するとともに、あらゆる住民が支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、すべての人々が、家庭や隣近所、地域のつながりの中で、自分らしさを大切にしながら、互いに高めあうことができる地域共生社会の実現をめざしてまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして、多大なるご協力をいただきました春日井市高齢者総合福祉計画推進協議会委員の皆様を始め、高齢者実態把握調査や意見募集などの機会において、貴重なご意見をいただきました市民の皆様及び関係各位に対しまして厚くお礼を申し上げます。

平成30年3月

春日井市長 伊藤 太